

「名電1号形里帰りプロジェクト」 展示期間を延長

博物館明治村(犬山市内山1番地、理事長:山本 亜土)では、「名電1号形里帰りプロジェクト」として2014年6月より期間限定で展示を行っている「旧・名古屋電気鉄道 第1号形電車(略称「名電1号形」)」の展示期間を、同車両の所有主である札幌市交通局のご厚意により延長することが決定しました。

このプロジェクトは明治村開村50周年(2015年3月18日)の記念事業として、1907年まで名古屋電気鉄道(名古屋鉄道の前身)において市電車両として使用していた「名電1号形」を、札幌市交通局より借り受け、展示・一般公開しているものです。

詳細は下記の通りです。

記

1. 名 称 名電1号形里帰りプロジェクト
2. 延長期間 2022年4月1日～2023年秋
※当館での展示終了後、札幌市へ返却
3. 展示場所 博物館明治村村内 札幌電話交換局付近
4. 展示方法 静態展示



名電1号形

【参考】「旧・名古屋電気鉄道 第1号電車(略称「名電1号形」)」とは

1901年(明治34年)に名古屋で製造され、1907年(明治40年)まで名古屋電気鉄道(株)が名古屋市内にて使用した26人乗りの車両。その後、札幌電気軌道(株)が同車両を購入し、1918年(大正7年)に札幌初の路面電車「29号」として使用を開始。1927年(昭和2年)より札幌市が市電として譲り受け、1936年(昭和11年)頃まで札幌市民の足として親しまれた。

廃車後は1951年(昭和26年)まで保管され、1960年(昭和35年)までの間、札幌市円山動物園内で展示。その後札幌市交通局に復帰し「22号」に改番され各種イベントで運行された。

< この件に関するお問合せ >

博物館明治村 / 長久・反端

〒484-0000 愛知県犬山市内山1番地 TEL0568-67-0314 FAX 0568-67-0358

HP: https://www.meitetsu-impress.jp/inquiry/inquiry_mvpress.html